

ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課（☎65-6504）までお知らせください。市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews>

「長浜 ほっとにゅーす」

検索

10月23日(日) 手に汗握る白熱のレース

山本山運動広場運動場で「KIDSランバイクKOHOKUカップ」が開催されました。

足で地面を蹴って走る「バランスバイク」を使用したレースイベントで、3歳～5歳の約30人が参加。無邪気にはしゃいでいた子どもたちも、スタートラインにつくと真剣な眼差しに。スタートの合図で勢いよく飛び出し、コーナーを鋭く攻めてゴールを目指します。表彰式では、シャンパンファイトで盛り上がりました。



▲長浜曳山祭

10月29日(土)～30日(日) 各地の祭りが長浜に集結！

地域伝統芸能全国大会「日本の祭りinながはま2016」が中心市街地、長浜文化芸術会館、JR木ノ本駅周辺、浅井文化ホールで開催されました。

今大会は、今年の「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞」に、ユネスコ無形文化遺産登録間近の長浜曳山祭が選ばれたことを記念して長浜で開催。各地に伝わる祭りや踊りが観られるとあって、のべ10万人もの観客が来場。まちが祭り一色に染まりました。

歩行者天国となった長浜駅の駅前通りにはレッドカーペットが敷かれるなど華やかな演出が見られたほか、木之本会場も駅前を中心に大いに賑わいました。



▲丹生茶わん祭



▲阿波おどり

11月5日(土) 戦争のない平和な世界を

虎姫文化ホールで「長浜市平和祈念式典」が開催され、戦没者の遺族、市内小中学生、各関係機関など約300人が出席しました。

愛する人の命、夢や希望を奪い、悲しみや憎しみを生み出す戦争をこの世からなくし、世界の恒久平和を実現しようと思いを共有。虎姫中学校生徒による戦跡訪問事業の感想文発表や、平和を願う合唱や曲の演奏があり、一人ひとりが戦争の悲しみ、平和への思いを胸に刻みました。



11月5日(土) 余呉湖畔に集いました

毎年恒例の「余呉湖まつり」が、余呉湖畔の観光館駐車場で開催されました。

この秋採れた地元野菜やお米の販売、池原そばやみたらし団子などの模擬店で賑わったほか、ステージでは天舞賤ヶ岳によるよさこい、ご当地ユニットCan'ce浜姫のコンサートなどで大いに盛り上がりました。地元中学生もボランティアとして運営に関わるなど、まさに地元手作りのイベントとなりました。

11月6日(日) きものの魅力を伝えます

曳山博物館前広場で「2017きものの女王選出大会」が開催され、18人の女性が艶やかな着物姿を披露。趣味や特技、着物への思い入れなどをPRする1部審査と、ステージ上を歩き、表情や動きで着物の美しさを表現する2部審査に挑みました。

選ばれたのは、長浜市の中村彩乃さんと中西真理さん、東近江市の池内瑞希さんの3人。これから1年間、着物の魅力を伝えるために様々なイベントに出席する予定です。



女王に選ばれた池内さん、中村さん、中西さん(左から)



11月7日(月) 緑豊かな竹生島を目指して

竹生島にかつての緑を取り戻そうと、「タブノキ再生プロジェクト」が行われました。平成25年度から実施されているもので、今年はびわ地域づくり協議会が、びわ北小児童や滋賀県立大学の生徒ら約70名とともに竹生島に渡り、タブノキの実生苗を採取する活動を行いました。

参加者らは、しっかり苗を育て、竹生島に丈夫な木を植え戻したいと意気込んでいました。